

技で魅せる
いしかわの
伝統工芸実演会

番外編

石川県中小企業団体中央会
伝統的工芸品 PR 事業
伝統工芸製作実演会
毎週土日祝 11~16 VOL.2



技で魅せる いしかわの伝統工芸実演会 夏休み特別企画として、
8月の毎月日曜日、ここの金沢ステーションギャラリーで、
加賀友禅彩色体験教室を開催します。是非ご参加下さい。



新築180cm
長藩の名守、そして
超イケメン、たまたま
ちばな藩の利家公



ズバリ、 百万石って、どれくらい？

三代加賀藩主利常公が、バカ殿も演じてまで守った
加賀百万石。ミリオンは響きだけで、"すごくいっぱい"
というのはなんとなくわかるのですが、お耳心ずけはながら、
著者を含め、地元民は、百万石がどれくらいなのか、
実は答えられなかつたりします。これだけあってたから
'百万石、百万石'と書いておきながら...
すみません(笑)

そこで、加賀藩のこに詳しい、金沢大学人間社会学域教授 中野節子先生に、
伺いました。"百万石って今のお金にしてどれくらいですか?"

加賀百万石といいますが、そのとれ高は実質(30万石あるとそうなので、
より現実的に、130万石で計算してみましょう)

うち80万石は家臣(本多家等)に与えられたため、前田家本藩の取り分は約50万石。
社会の授業で習った五公五民で計算した25万石が前田の殿様が公私にわたって使えた分だそうです。
というわけで、モシモとした白米は、5万石を、現代の米価と人件費をベースに換算してみましょう。

[米価ベース] お米10kg 4,000円として、1石(150kg) 6万円、125,000石 x 60,000円 → **75億円!!**
[人件費ベース] 当時の日給はお米で5合。5合=1万円として、1石 2,000,000円だから、
125,000石 x 2,000,000円 → **2,500億円!!**



わおー、こんなに差があるなんて...
(どおりで誰も知らないはずですが) 当時は、人件費が非常に安かったそうで、「あいたを」として
1,000~1,500円としておいてはいいのでしょうか?」との有難いアドバイスをいただきました。

尺貫法	米価ベース	人件費ベース
一合 / 0.15 kg		2,000円
一升 (10合) 1.5 kg	600円	20,000円
一斗 (10升) 15 kg	6000円	200,000円
一俵 (5斗) 75 kg	30,000円	1,000,000円
一石 (2俵/10斗) 150 kg	60,000円	2,000,000円

中野先生、親切、
丁寧なアドバイスをいただき、
ありがとうございました。



画 郵太郎のト、ウ〜たろ〜画

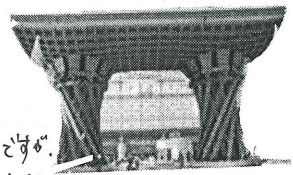


アメリカの人気旅雑誌 'TRAVEL LEISURE' のwebで 世界で最も美しい
駅のひとつに選ばれたJR金沢駅の待ち合わせスポットといはせ、
ご存じ、鼓門ですが、我ら 地元民にがんご愛され続けている
モニュメントがあることをご存知でしょうか?
その名も、郵太郎、ウ〜たろ〜
You Taro!! ですよ!! (英語で言ってます)

お世辞にも「カワイイ」と言い難いルックスですが、
モデルである加賀人形は石川県の希少伝統的工芸品
でもあります。しかも、58年前から金沢駅を守っているというのですから、
いやいや、奈良のせんとくんもびっくりの「キキウの大御所」なのです。

昔は、改札口の真正面に鎮座していたため、金沢駅の待ち合わせスポット
だったのですが、馬の改装のたびに、言誰も知らない夜のうちにひっそりと
移動を重ね、最近はどうやら馬西口出口の前に定住することにしたようです。
雨の日も風の日も雪の日も真夏日も、前掛け一丁でがんばり続けている郵太郎と
ぜひ、金沢の旅のおもむきで、写真を撮って下さい

ちなみに、郵太郎の本業は郵便ポスト。こちらから投函すると、懸賞に
当選するという都市伝説もあります。わか



暑くても、まだまだ魅せます。

7月の実演スケジュール

- 7/6-7 九谷焼・金沢和傘
- 7/13-14-15 九谷焼・加賀象嵌
- 7/20-21 九谷焼・和紙
- 7/26-27 九谷焼・和紙

◎金沢ステーションギャラリー 11:00~16:00

今日のひとこと
技で魅せる いしかわの
伝統工芸実演会 番外編を
お手にしていただきありがとうございます。石川県に限らず、
伝統工芸は、この国の大切な宝。
もし、この実演会をとおして、
伝統工芸を少しでも身近に感じて
いただけたら、うれいず。
がんばろうニッポン!!!

